

令和元年度
バンドウ ミライ楽考
専門課程活動報告



令和元年10月27日（日）

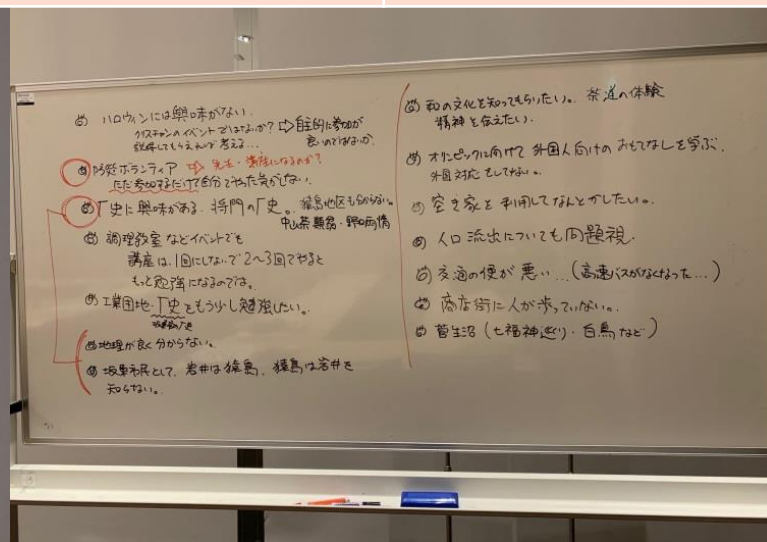
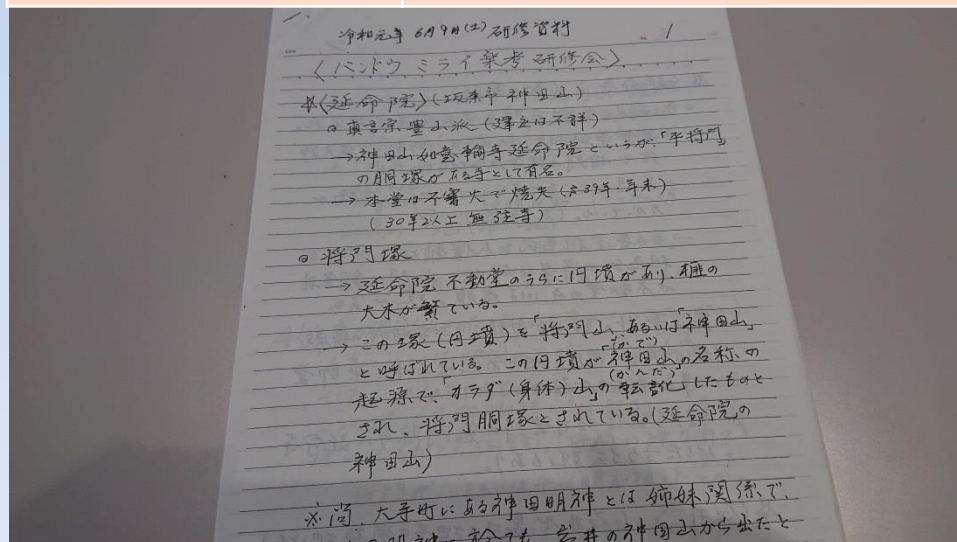
専門課程メンバー

楽生11名、担当推進委員3名

◎リーダー 倉持 勝男	○サブリーダー 倉持 清	○サブリーダー 倉持 恵子
○書記 倉持 登	○書記 鈴木 幸子	
畔上 薫	倉持 市郎	染谷 悦子
富山 さち子	中根 幸子	古矢 美知子
☆担当推進委員 古谷 純一	☆担当推進委員 野口 和明	☆担当推進委員（顧問） 倉持 昌弘

入楽式までの打合せスケジュール

日 時	内 容 等	備 考
2月21日(木)	自己紹介、専門課程の説明、打合せ	リーダー等選出
3月 7日(木)	打合せ(どんなことをやりたいか意見交換)	書記等選出
4月13日(土)	打合せ(やりたいことのまとめ)	
5月18日(土)	打合せ(年間スケジュールの決定)	
5月25日(土)	バンドウミライ楽考 入楽式 専門課程 年間スケジュールの発表	



専門課程 スケジュール

日 時	内 容 等	準 備 等
6月 9日(日)	講座① 平将門史跡めぐり(市内)	通知作成、資料準備、コース等の確認、配車、記録写真等
7月12日(金)	講座② ごみ処理場見学 ごみとりサイクル出前講座	施設見学予約、出前講座申請、通知作成、記録写真等
7月23日(土)	史跡めぐり(市外)の下見 (倉持市郎、倉持清、倉持勝男)	コース等の確認
9月 8日(日)	講座③ 平将門史跡めぐり(市外)	資料準備、配車、通知作成、記録写真等
10月 3日(木) ~7日(月)	講座④ 茨城国体ボランティア (市観光協会PR)	担当課との打合せ、割り振り表作成、記録写真等
10月27日(日)	バンドウミライ楽考卒業式	活動のまとめ発表

講座① 平将門史跡めぐり（市内）



延命院（神田山）から
スタート！！

令和元年6月9日（土）

講座① 平将門史跡めぐり（市内）



延命寺（島の薬師）

講座① 平将門史跡めぐり（市内）



九重の桜

講座① 平将門史跡めぐり（市内）



石井の井戸

講座① 平将門史跡めぐり（市内）



島広山

講座① 平将門史跡めぐり（市内）



一言神社

講座① 平将門史跡めぐり（市内）



國王神社

講座① 平将門史跡めぐり（市内）



國王神社（織田完之の碑文）

講座② ごみ処理場見学・出前講座



令和元年7月12日（金）

講座② ごみ処理場見学・出前講座



施設の概要説明



講座② ごみ処理場見学・出前講座



熱回収施設の見学・説明

講座② ごみ処理場見学・出前講座



リサイクルプラザの見学
(缶・ペットボトルのプレス成型品)

啓発コーナー



講座② ごみ処理場見学・出前講座



手選別ではねられた異物

リサイクルプラザ
(かん類選別コンベア
異物の手選別作業)



講座② ごみ処理場見学・出前講座



生活環境課の職員による出前講座

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）

延命寺（取手市藤代）



ついでに、樹木葬も見学



令和元年9月8日（日）

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）



海禅寺（守谷市高野）影武者七騎

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）



海禅寺（守谷市高野）相馬家本家墓碑

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）



三郎天神（常総市大生郷町）

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）



平将門公之像

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）



蔵持の建長銘板碑

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）



神子女古墳慰霊の碑

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）



平将門史跡（常総市）

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）



将門川水門と神子女【御子埋】（常総市篠山）

講座③ 平将門史跡めぐり（市外）



講座の最後は、国体ボランティアの打合せ

講座④ 茨城国体ボランティア

総合体育館
ハンドボール会場



くまモンも応援に
かけつけました！



講座④ 茨城国体ボランティア



坂東市観光協会
PRボランティア

講座④ 茨城国体ボランティア



何がいいかな？



講座④ 茨城国体ボランティア

高校生も
買いに来てくれました！



PRしながら
配ります。



ご協力ありがとうございました！

令和元年度 バンドウミライ楽考 専門課程

平将門公史跡めぐり市内

1、延命院(坂東市神田山)

神田山延命院には、将門山と伝える塚があり、平将門公の胴を埋めた場所と伝えられている。

巨木の櫃がある。

胴塚の前には不動堂があり、その中には『谷原放光不動尊』がある。
将門公は胴塚より『谷原放光不動尊』を通じて、人々に慈愛を放光しつづけている感じがする。

*将門の三延命 延命院(神田山)
 延命寺(坂東市中根)
 延命寺(藤代町)

写真は胴塚保存会会長の海老原氏より延命院・胴塚の説明を受けている。

2、延命寺(島の薬師)(坂東市中根)

もと国王神社の別当寺で神社の側にあったが、享保の頃に現在地に移ったという。延命は妙見信仰と通じるから相馬氏の崇敬があった。

山門・薬師堂には『九曜紋』がある。なお『九曜紋』は将門の後継と名乗る相馬氏の紋でもある。

石井営所の鬼門除けに延命寺をしたとする伝説もある。また、薬師如来は将門公の護守仏。

3、九重の桜(坂東市中根)

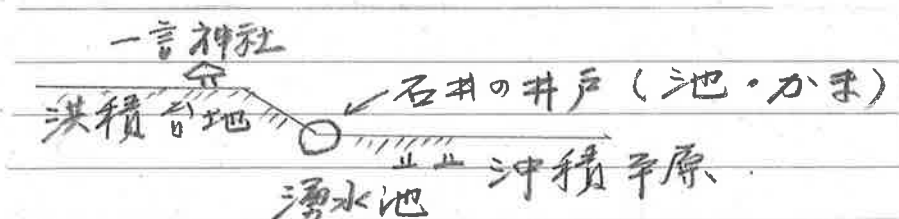
『九重』というのは、中国の王城の紋を『九重』につくことから生まれたもので、伝説によれば、この桜は御所の『紫宸殿』の桜を株分けしたものを将門公が移植したとの伝説がある。

将門公は『滝口衛士』であった。

4、石井の井戸（坂東市中根）

将門公が喉がかわいたので『水』と言いいうと翁が現れて大石を持ち上げると湧水がコンコンと湧き出した。

『久方の光の末の景うつる石井を守る翁なりけり』と歌を添えて姿を消した。



*常陸風土記にも『何々の井(池)』とよくでてくる。

5、島広山（坂東市中根）

平将門公の営所跡、あるいは王城建設の地と伝えられている。島広山は『扶桑略記』に見える地名で、国王神社の縁起では『広島』としている。

6、一言神社（坂東市中根）

承平5年（935）の創建と伝え、石井の所で、一言『水』と言った翁を祀り『一言明神』と称したという。

将門公の守護神であったとも伝えられる。

境内の碑に『崇禪神社』の石祠があり、『牧畜の神』として『富士見の馬場』付近にあったものを移したと伝えられている。また将門公の屋敷跡ともいう。

7、国王神社（坂東市上岩井）

天禄三年（972）、将門公の娘、如蔵尼が父の三十三回忌に、その尊像を刻して、神祠に納め将門公の尊霊を祀り総州一国の王の意味で、国王大明神と称して、天下泰平・国家安全を祈念したという。

なお、この社には、平将門公の笏や鬼神丸の太刀・銅鏡・古扇などの宝物もあったが、今は失われてしまった。織田完之の碑文を確認。彼は将門公の冤罪に献身した。国定教科書から将門公の反逆を除くよう建議した。

*将門公の伝説の多い土地では、桔梗忌避、成田山忌避、胡瓜忌避がある。

平将門公史跡めぐり(市外)

1、延命寺(藤代町 岡)

親王山延命寺は将門公の菩提を弔うため創建された寺である。紀州根来寺の覚鑊上人の夢のお告げで、将門の縁者であることと、寺を建立すれば将門・類縁者・無縁の衆生まれでも救われることを知らされた。上人は将門公の、この地に下り、寺を建立して『親王山延命寺』とした。(保延元年 1135)
写真の正面には『将門大明神』の石祠ある。なお、延命寺には『樹木葬』もしている

2、海禅寺(守谷市高野)

大雄山海禅寺は承平元年(931)、平の将門公が高野山に擬して創建したという。本寺には将門公『春溪院浄心大禅定門』の位牌と相馬氏十一代の位牌もある。相馬氏が参勤の時に一泊して祖先の霊を供養した。
写真は七騎塚で将門公と七人の影武者の供養塔。
親王堂もあり、将門公の霊を祀って『国王明神』と称した。
写真は相馬家本家の墓碑と確認している。

3、三郎天神(常総市大生郷)

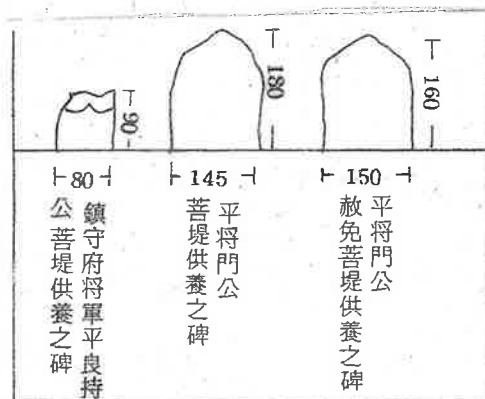
菅原道真(845～903)の三男で『三郎景行』と呼ばれ、常陸介として赴任して最初真壁の羽島に天満宮を建てたが、大生郷の地に天満宮を移し、近くに学問所『三郎天神』を建立したと伝えられている。
将門公の弟、将平も谷和原村から通い、この学問所で学んだと伝えられそれ故に将門公が新皇と称した時に、それを諫める学問的良識を持っていたと伝えられている。
飯沼開発や水上交通(飯沼七天神)にも力を入れたと伝えている。

4、平将門公の像

宮地寅彦氏の作品。その位置に石碑があり将門公の生涯の歴史・家系図が刻まれている。
(NHKの大河ドラマの記念として建立)

5、平将門公菩薩供養の碑（常総市石下蔵持）

この碑は鬼怒川の辺にあったもので、大洪水に（会津西街道に地震によりできた五十里ダム決壊）より埋まってしまったが、昭和5年の河川工事で発見され、三基を行者の地に移動、もう一基（炎石）は西福寺に移動された。



中央の将門公菩薩供養碑を『將軍太郎将弘勅免供養碑』とする資料もある。
摩耗していてわかりにくい。

6、神子女（御子埋）（常総市石下篠山蔵持）

- 6-1 将門公兄の将弘が神子埋に埋葬されているという伝説がある。
また、将門が戦死するや栗毛馬で運び御子埋に葬ったとする伝説

石碑は苔で碑文は解読しづらかった。

- 6-2 平新王将門公一族墳墓の地の石碑

神子埋より200mの下流にある石碑。

当時、貞盛らの追及が厳しく供養することができなかった。後に、北条時頼（1227～1263）が自ら執奏して勅免を受け、この地に供養碑を建立した。なお、北条時頼は貞盛の後裔。

鬼怒川の大洪水により土中に埋もれたが、昭和5年の改修工事で発掘され、蔵持（三基）と西福寺（一基）へ移された。

- 6-3 将門川水門

神子埋のすぐそばに将門川の水門があり鬼怒川と合流している。

将門川は、平良将（良持）の『国庁』の堀であったという伝説がある。

- *参考文献 茨城の将門・・・瀬谷義彦他2名
関東中心将門伝説の旅・・・稲葉獄男
将門記・・・村上春樹
新編将門地誌・・・赤城宗則
将門伝説の歴史・・・樋口州男
図説日本史・・・東京書籍
小説平将門・・・童門冬二
国土地理院・・・水海道 1／5万地形図
茨城242社寺ご利益ガイド・・・今瀬文也

※「九重の桜」と「三種井」

- ・将門公が紫宸殿より持ち帰ったと伝わるこの桜は、観賞用であったかもしれないが、稲作農事を知る「手掛け」としての大事な役割を持つ桜であったと思われる。
- ・地方にも「種蒔き桜（こぶし）」、「種蒔鳥（かつこう）」、「山地の融雪の形」で種を蒔く時期を知る地域もある。
- ・「九重の桜」、「三種井」も稲作農事に深くかかわっているものと思われ、将門公も石井の稲作発展のために、九重の桜を持ち帰ったと思われる。